2015.3.10記者会見資料

大型開発・大企業応援の河村オール与党市政を転換し、市民の暮らしと営業・雇用を守る、「２２８万市民が輝く、なごや改革ビジョン」（第２次案）の概要

日本共産党愛知県常任委員会

同名古屋市委員会

昨年１０月に表記「なごや改革ビジョン」（第１次案）を発表していらい寄せられた市民の意見、要望をふまえ、第２次案を提案する。市会議員選挙中も、論戦で活用し、さらに充実・発展させる。主な補強部分は以下のとおり（本文中、補強部分は下線で示した）。

１　市民のみなさんへ

※市議選での議席獲得目標を、「１０議席以上」→「１２議席以上」に。６常任委員会すべてに複数の委員配置をめざす

２　なごや改革ビジョンの提案

※キーワードとして、「３つの負担軽減、３つの無料化」を追記。（国保料１人１万円引き下げ、介護保険料を引き下げ、保育料値下げ、小中学校の給食無料化、１８歳までの医療費無料化、７５歳からの医療費無料化）

（１）「福祉日本一」「子育てするなら名古屋」を実現する改革プラン

　　・３つの財源を明瞭に

　　・第１の柱…安心の医療・介護のまち名古屋を　５項目

　　・第２の柱…子育て応援、子どもたちが輝く名古屋を　５項目

　　・第３の柱…安心して住み続けられる名古屋を　３項目

（２）地域に根ざした産業や中小企業を応援し、「働きやすさナンバーワン都市なごや」をめざす

　　・中小企業応援　６項目

　　・働く人を応援　４項目

（３）自然災害や放射能汚染から市民を守る、安全・安心のまちづくり防災対策改革

―４項目

（４）「ライフエリア（生活圏）」整備で、暮らしやすいまちをつくる改革―５項目

（５）アジアと世界の平和を担う「国際平和友好都市なごや」への改革―４項目

（６）不正をただし、市民に開かれた議会をめざす改革―３項目

３　河村市政を支える自民党主導の「オール与党」

４　日本共産党が伸びれば市政が変わる

　（１）実績

　（２）市政懇談会やシンポなどで市民の声を市政にいかす

　（３）報酬半減をはじめ公約実現、議会改革

５　市民のみなさんへ